

約1,000人の生徒が防災訓練に自主参加！！

11日、國學院大學久我山中学高等学校（久我山1-9-1）で、地震発生時などの救急時に自らの命を守るシェイクアウト訓練が行われ、約1,000人の生徒が参加しました。同校は毎年この時期、定期試験の最中ですが、地震などの災害発生時に身を守れるよう今回初めて訓練に参加することにしました。

平成24年4月、国の地震調査研究本部・地震調査委員会の発表によると、首都直下型地震は今後30年以内に起こる確率は約70%と言われており、いつ起こってもおかしくありません。区では、東日本大震災を教訓とし、発生が危惧されている首都直下地震に備えるため、区民が発災時にいち早く身の安全を確保できるよう、毎年3月11日にシェイクアウト訓練（自主参加型一斉防災訓練）を実施してきました。シェイクアウト訓練は、自主参加型一斉防災訓練で、あらかじめ決められた時刻に、参加者全員が机の下などに隠れ、その場で身の安全を図る行動をとるものです。杉並区では、平成24年度から、個人あるいは学校や会社等のグループ単位で事前登録を受け付け、4回目の今回は、46,049名が参加しました。



國學院大學久我山中学高等学校は、今回初めての参加となります。毎年、同校はこの時期、学年末テストの最中で、区が指定している11時の時間には、すでに下校している生徒が多くこれまで訓練に参加していませんでした。同校は、今日も、例年同様テスト期間中ですが、東日本大震災から5年が経ち、震災の風化が心配される中、いつ発生するかわからない地震発生時に適切な行動がとれるよう、今回初めて参加することにしました。

本日、同校は、事前準備をせずにその時間帯に残っている生徒を対象に、校内放送で身を守るための指示し、教室や図書室、カフェテリア（食堂）など学校に残っている生徒合計約1,000人が参加しました。カフェテリアで食事や勉強をしていた生徒達約100名は、11日午前11時に校内に地震発生を知らせる放送が流れると、それまでしていた食事や勉強などの作業を一斉に止め、すばやく机の下に頭を隠し、訓練が行われた1分間、静かに身を潜めていました。訓練に参加した中学3年生の男子生徒は「こういう訓練にみんなで一斉に参加すると緊張感がある。実際に地震が起こった際などに対応できるよう、こういう訓練には積極的に参加していきたい」と話していました。

【報道機関 問い合わせ先】

危機管理室防災課 TEL：3312-2111

総務部広報課 TEL：3312-2111